

	号外	定価 1部2円	支部・分会・評協議会での人員確保要求の取り組みを進め、現場からの職場環境改善を実現していこう。
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

7.5人員確保要求書提出・人事課長交渉

「人員確保要求」で職場実態訴える

=任期付職員経験者選考採用要請書・各支部決議文(129分会)も提出=

組織・定数要求見据え支部・評協議会要求の強化を

7月5日、県職労は知事あて「人員確保に関する要求書」を佐藤人事課長に提出した。人員確保要求書には、5～6月に取り組んだ「分会基礎調査」を踏まえた部局・所属別の人員要求数も盛り込んだ(中間報告数値:人員要求数211人)。併せて、任期付職員の任期の定めのない選考採用が行われるに当たり、選考採用枠の拡大及び勤務実績に十分考慮した採用を求める要請書に6月に取り組んだ職場決議(129分会)を添えて提出し、人事課長と交渉を行った。



佐藤人事課長(右)に要求書を提出



職場実態を訴える県職労交渉団

【交渉概要】

佐藤人事課長は「Ⅲ種の一般事務では29人が合格となった。7月下旬のⅠ種の最終合格を含め、30人程度の採用を見込む。配置は各部局の要望や欠員解消の観点を踏まえ検討」「職場の状況について、担当部局を通じて把握したうえで、適切に判断」との姿勢を引き出したものの、①要求に即した具体的な人員増の改善見

通しを示すべきこと、②専門職確保には処遇改善とセットの対策が必要、③超勤上限が導入されても隠れ超勤が続いており、超勤上限の趣旨を踏まえ人員増の職場環境改善を行う必要と訴え、対策を求めた。

任期付職員の任期の定めのない職員の選考採用に関し「経験者の採用は貴重な即戦力となり得ることは認識。採用予定数は退職者や他の採用試験の採用予定数を勘案して決定」との姿勢にとどまったことから、改めて欠員解消、任期付職員の実務経験を活かす観点から、採用枠拡大を強く要望した。

大崎委員長から、職場実態を踏まえた人員確保を要請し、人事課長から「実態把握し改善に努める」回答を引き出し、交渉を終了した。組織・定数検討が本格化することから、現場からの要求強化が重要だ。支部・評協議会の取組強化を要請する(詳細は裏面)。



回答する佐藤人事課長

1 特別募集の採用見通し

(県 職 労) 特別募集の採用見込と配属の基本的考え方は。

(人事課長) Ⅲ種は29人が合格。7月末の最終合格発表を予定するⅠ種と合わせて30人程度を採用見込み。配属先は今後検討するが、各部署の要望や欠員解消の観点を踏まえ検討する。

(県 職 労) 既に欠員が発生している公所に加え、早期の加配の要望を受けている公所に確実に配属を。

2 各所属の人員要求

(県 職 労) 人員確保・定数管理の在り方の検討姿勢は。

(人事課長) 6月に各振興局を訪問のうえ、現地において各所属長に直接ヒアリングし、課題を把握したほか、担当部署を通じて状況把握し検討を進める。

(県 職 労) 職場実態の把握により踏み込んで行うべき。各公所ごとの人員要求数も盛り込んで要求しており。人員配置に向けた検討を要請する。

2019分会基礎調査中間集計(2019.7.4時点)

	県庁	盛岡 広域	県南 広域	沿岸 広域	県北 広域	合計
事務企画	5		6	4	2	17
事務用地			6	5	2	13
事務税務	1		4	3		8
事務その他	6	9	11	12	2	40
専門土木	16	4	23	19	3	65
専門保福		6	4	4	1	15
専門普及		2	2	2		6
専門企画			7	1		8
研究員		16	3	7		26
現業			1			1
専門他	3	1	4	2	2	12
合計	31	38	71	59	12	211

3 恒常的な超過勤務実態を踏まえた職場改善

(県 職 労) 超過勤務実績を踏まえた人員増の改善策は。

(人事課長) 事前命令・事後確認の徹底と超勤上限の趣旨を直接所属長に説明。「働き方改革推進強化月間」として7～9月のうち2ヶ月を選択。集中的に取り組む。

(県 職 労) 超勤せざるを得ない実態にあるにもかかわらず、超勤上限を超えた超勤命令をしない事案も散見される。改善を強く求める。4月26日に他律的業務部署の指定がされたが、少なくとも通常の超勤上限内に収まる職場環境改善をすべき。

(人事課長) 無条件に超勤を増やしていいというものではなく、月45時間・年360時間の範囲内で超勤命令が原則という点について周知を徹底。

(県 職 労) 超過勤務課題は秋の確定闘争期までに検証を続け、改めて改善を求めていく。

全国比例区『吉田ただとも』遊説で政策訴える 自治労組織内『吉田ただとも』遊説で政策訴える 緊急！=7.9社民党・政談演説会に参加しよう！=

参議院選挙も4日目を迎え、自治労組織内・比例代表候補『吉田ただとも』は、地元大分県を皮切りに遊説を本格化。平和憲法を守り、働く者の権利の拡充、消費増税阻止を訴え、支持を広げている。「吉田ただとも」の政策を広げ、議席確保に全力を挙げよう。岩手でも「吉田ただとも」・社民党の政策を広げるべく、政談演説会が開催される。ぜひ参加し、「ただともの輪」を広げよう！

とき 7月9日(火)18:30～

ところ 岩手教育会館2階 多目的ホール(盛岡市大通 1-1-16)

弁士 吉川はじめ社民党幹事長、野党統一候補「横沢たかのり」ほか



吉田ただとも候補